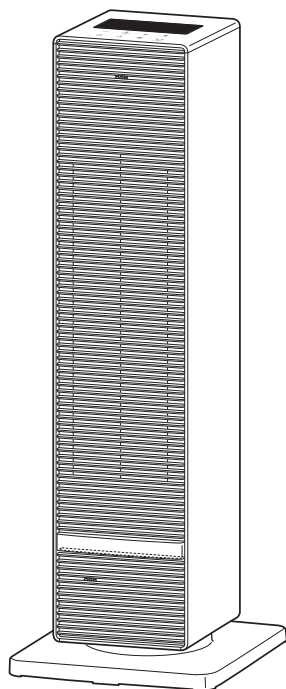


送風機能付ファンヒーター KHF-12269

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意	1~4
知っておいていただきたいこと	5~6
各部のなまえ	7~8
リモコンについて	9
ご使用前の準備(台座を取り付ける)	10
正しい使いかた	11~17
温風運転する	11
送風運転する	12
いろいろな機能の使いかた	
首振り機能	13
室温運動モード機能	14~15
オフタイマー機能	16
お気に入り機能	17
ライト機能	17
お手入れのしかた	18~19
保管のしかた	20
故障かな?と思ったら	21
Q&A(よくあるご質問)	22
仕様	22
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	25
保証・無料修理規定	26
保証書	27
お客様相談窓口	27

このたびは、コイズミ 送風機能付ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、大切に保管してください。

●特に1~6ページの「安全上のご注意」と「知っておいていただきたいこと」を必ずお読みください。

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

⚠ 警告



・故障・異常時には、直ちに使用を中止する。

そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

- ・電源を入れても、ときどき通電しないときがある。
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・電源プラグ・電源コード・本体などが異常に熱い。
- ・こげくさい臭いがする。

※このような症状のときはすぐに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へ点検、修理を依頼してください。

・やけどの恐れあり。

次のような方がお使いのときは特に注意してください。

- ・乳幼児
- ・自分で操作できない方
- ・皮膚感覚の弱い方

・延長コードは使用せず、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

・台座を本体に確実に取り付け。

本体が転倒し、火災・感電・けが原因となります。

・電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

・電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。

ショート・火災の原因となります。

警告



- ・改造はしない。修理技術者以外の人、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にご相談ください。



- ・スプレー缶などを本体の近くに置かない。

爆発・火災の原因となります。

- ・すき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。

感電・異常動作してけがをすることがあります。

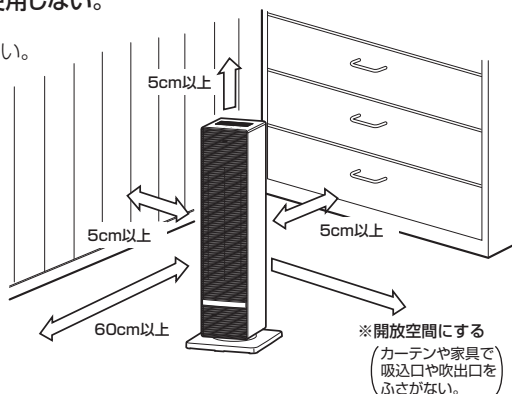
- ・電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

- ・カーテン、ふとんなど燃えやすい物や、
風に吸い込まれやすい物の近くで使用しない。

火災・故障の恐れがあります。

図に示す寸法以内に近づけないでください。



- ・就寝中は温風運転をしない。

寝具などが触れると火災の原因となります。

- ・梱包材を子供の手の届く場所に置かない。

口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして窒息する恐れがあります。

- ・長時間身体に風を当てない。

低温やけどや健康を害する恐れがあります。

- ・台座を取り付ける前に運転しない。

本体が転倒し、火災・感電・けがの原因となります。

- ・電源コードを傷付ける・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重い物を載せる・はさみ込む・送風機能付ファンヒーターの下を通すなどしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

- ・電源コードを本体に巻き付けない。また、電源コードを束ねたまま使用しない。

電源コードが断線して、ショートなどによる感電・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- ・AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

AC200V・船舶の電源・直流電源などAC100V以外では使用しないでください。

- ・吸込口カバーやフィルターを取りはずしたまま使用しない。

本体内にゴミやほこりなどを吸い込み、故障して発火・過熱する原因となります。



- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電・けがをすることがあります。



- ・発熱器具の近くに置かない。

樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

⚠ 注意



- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。

- ・台座の取り付け時、指をはさまないようにする。

けがの原因となります。

- ・持ち運びの際は、落下させないよう注意する。

けがの原因となります。

- ・本体のお手入れは、必ず運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。

感電・けがをすることがあります。

- ・リモコン用電池は乳幼児の手の届かない場所に保管する。

万一口飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。

- ・長期間使用しないときはリモコン用電池を取り出しておく。

電池の液漏れで回路がショートし、火災・けが・汚損の原因となります。



- ・外出時、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

けがや絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



- ・本体に衣類やふとんをかけて使用しない。

過熱して火災の原因となります。

- ・犬や猫などのペット用として使用しない。

ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因となることがあります。

- ・使用中や使用後、送風が止まるまで電源プラグを抜かない。

けが・やけど・故障の原因となります。

注意



- ・乾燥など他の用途に使用しない。
過熱して発火することがあります。燃えやすい物の落下などにはご注意ください。
- ・壁や家具の近くで使用しない。
温風運転時は吹出口を壁や家具に向けしないでください。熱で壁や家具が変形・変色したり火災の原因となることがあります。
- ・手で首振りしない。
故障の原因となります。
- ・障害物・テープなどで吸込口や吹出口をふさがない。
故障・事故の原因となります。
- ・本体に乗ったり、寄りかかったり、腰掛けたりしない。
けが・故障の原因となります。
- ・次のような場所で使用しない。
 - ・温室や浴室、屋外など高温・多湿・雨や水のかかる場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・油・ほこり・薬品などが付きやすい場所
 - ・ガスレンジなど炎の近く・引火性ガスのある場所
 - ・暖房器具の温風が当たる場所感電・ショート・発火の原因となります。
- ・毛足の長い敷物の上や座ぶとんの上など、不安定な場所で使用しない。
火災・故障・破損・けがの原因となります。
- ・強い衝撃や振動を与えない。
故障の原因となります。
- ・移動させる際は、引きずらない。
故障・床を傷付ける原因となります。
- ・業務用として使用しない。また、不特定多数の人が使用する場所に置かない。
連続過負荷による故障の恐れがあります。
- ・リモコン用電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。
電池の発熱・破裂・破損・液漏れにより、火災・けがの原因となります。
- ・指定以外のリモコン用電池を使用しない。
電池の発熱・破裂・破損・液漏れにより、火災・けが・周囲を汚損する原因となります。



- ・本体に水やお茶などをかけたりしない。
万一かかったときは、漏電・感電・過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。



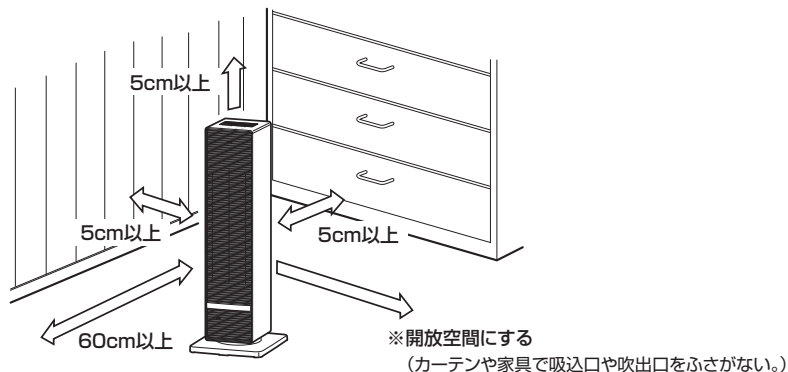
- ・使用中、吹出口のすき間に手や指を入れない。
けがの原因となります。
- ・使用中や使用後しばらくは吹出口など高温部に触れない。
やけど・けがの原因となります。

知っておいていただきたいこと

※初めてご使用になるときは、塗料などのおいが出ることがあります。しばらく運転すると自然になくなります。

設置について

- 壁や家具、カーテンなど燃えやすい物から離して設置してください。
- 上方から落下物の恐れがない場所に設置してください。
- 前方60cm以上、上方・後方・側方5cm以上あけ、左右どちらかは障害物のない開放空間にしてください。



- 吸込口・吹出口をふさがないようにしてください。
- 水平で安定したじょうぶな床の上に設置してください。
- 高温・多湿・水のかかる場所・直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 人がよく通る場所や、就寝中に手が届く場所に設置しないでください。
- 必ず台座を取り付けてから使用してください。

移動について

- 運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから移動させてください。
- 必ず背面の取っ手の部分に手を入れ、持ち上げて移動させてください。
- 本体を引きずったり、強い衝撃を与えないように注意してください。
- 電源コードを引っ掛けたり、ふみつけたりしないよう注意してください。
- 本体が手や足に落下するとけがをしたり、床などに落とすと破損の原因となりますので注意してください。

ディスプレイの明るさについて

- 無操作状態で約30秒経過すると、ディスプレイは暗くなります。

5時間自動オフ（電源切り忘れ防止機能）について

温風運転時、最後の操作から約5時間経過すると、ライトが点滅し自動的に運転を停止します。

- ・引き続き使用する場合は、一度電源を切り、電源ボタン・温風（W数切替）ボタンを押して運転を再開してください。
- ・そのまま使用しない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

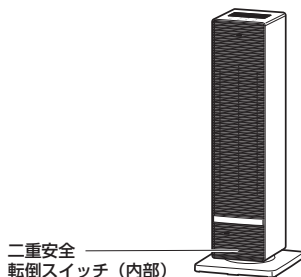
- 送風運転時は5時間自動オフは作動しません。

二重安全転倒スイッチについて

通電中に本体が倒れたり、傾いたりした場合、自動的に電源が切れます。

また、倒れた状態では通電しない構造になっています。

- ・引き続き使用する場合は、安定した場所に置きなおし、一度電源を切ってから運転を再開してください。



温風運転時の温度過昇防止装置（サーモスタット）について

本体内の温度が上昇しすぎると、温度過昇防止装置（サーモスタット）がはたらき、通電が止まります。

次の項目を点検してください。

- ・フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？
- ・吹出口の前に物を置いていませんか？
- ・吸込口がふさがっていませんか？
- ・設置のしかたが守られていますか？（P. 5 参照）

原因を取り除き、約30分後、再度電源を入れてください。

リモコンについて

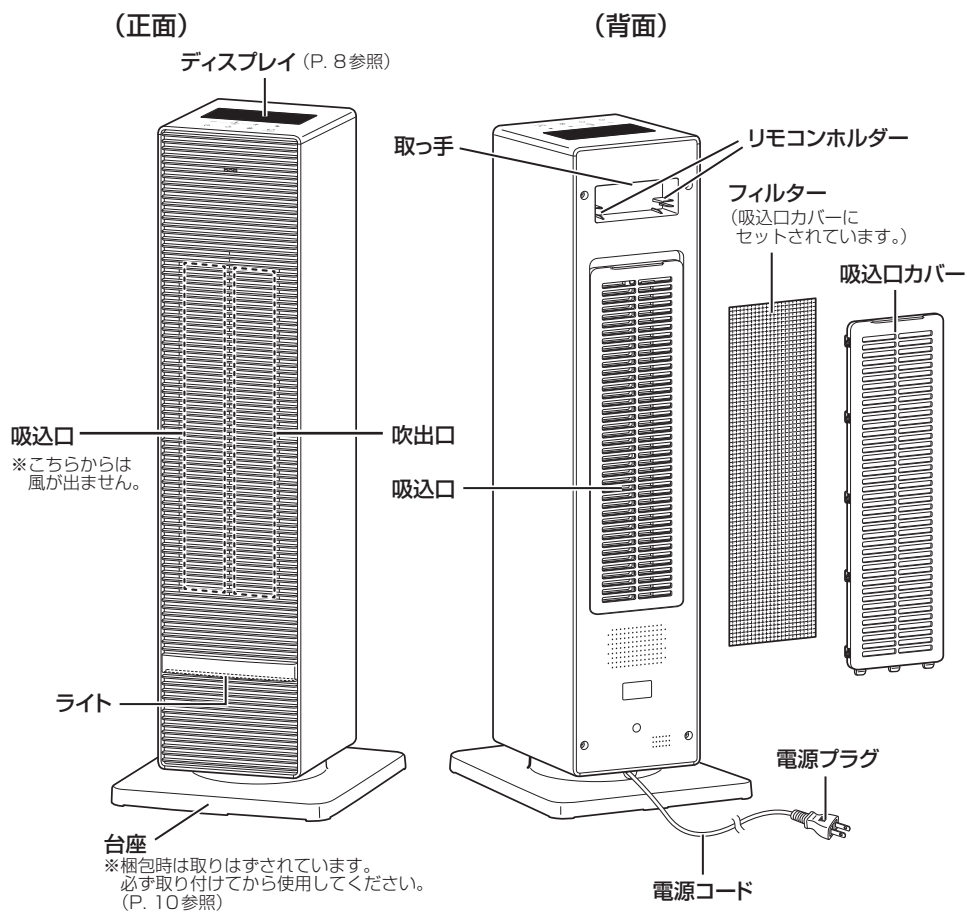
安全のためリモコンでは温風運転の開始、送風運転から温風運転への切り替えができません。

上記の操作をしようとすると「ビッピ」と音が鳴ります。

温風運転中に温風の強弱を切り替えることはできます。

各部のなまえ

本体



● リモコン※



● ボタン電池 (CR2032)※ × 1 個



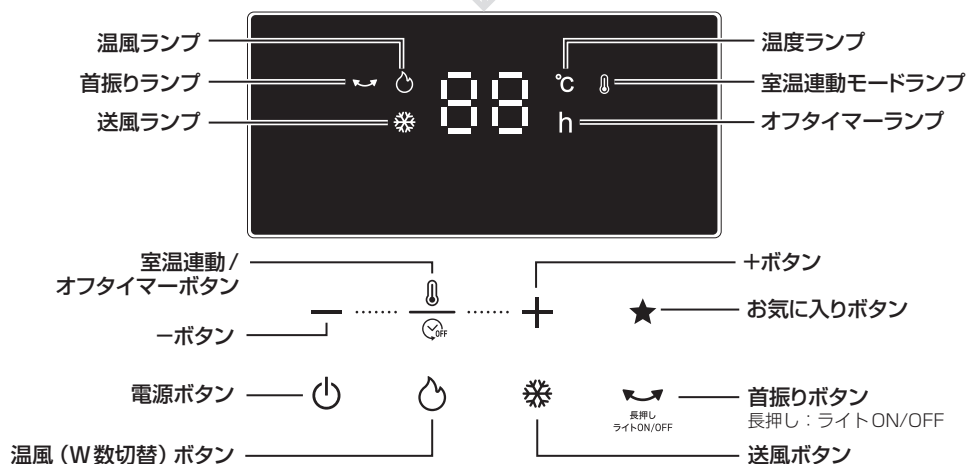
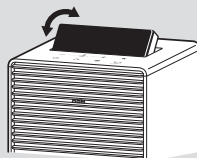
名称の横に※が付いているものは付属品です。

操作部

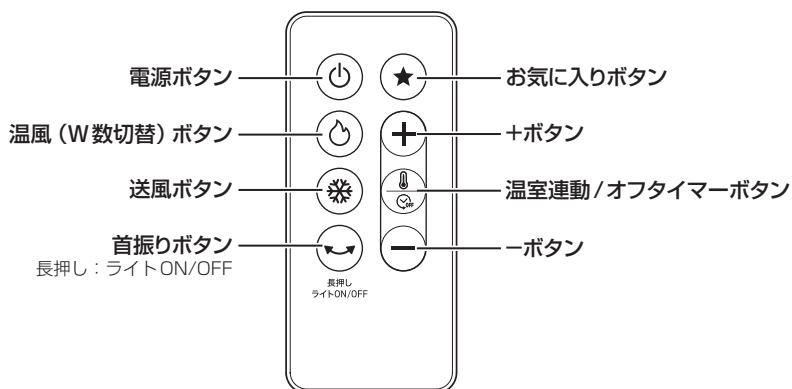
ディスプレイ

電源ボタンを押すと、自動的にディスプレイが起き上がります。

運転停止時は、自動的にディスプレイが閉じます。
(運転を再開すると、ディスプレイが起き上がります。)



リモコン



リモコンについて

※ご使用前に、リモコン下部から出ている絶縁シートを引き抜いてください。

電池の入れかた

- ①リモコンの背面の電池カバーを引き出す。
※ツメを押しながら引き出してください。
- ②ボタン電池（CR2032）を⊕側を上にして電池カバーにセットする。
- ③電池カバーを閉める。

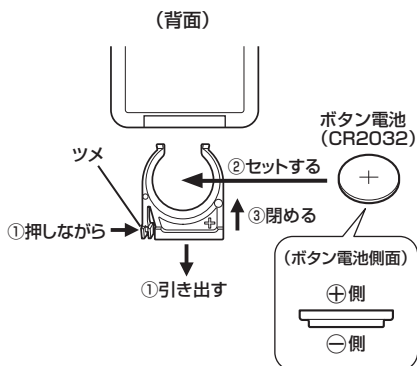
リモコンの電池の交換目安

電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅いなどの現象が生じます。このようなときは、新しい電池と交換してください。

ご注意

ボタン電池の発熱・破裂・破損・液漏れ防止のために次のことをお守りください。

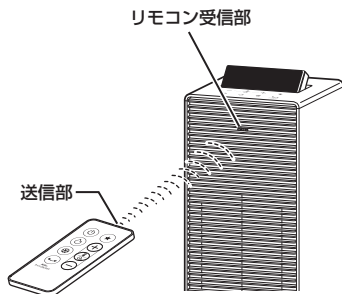
- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- プラスとマイナスは正しく入れてください。
- 火や水の中への投入や、分解、加熱などはしないでください。



リモコンの使いかた

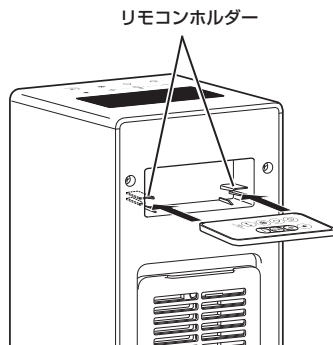
送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。
(使用可能範囲：本体から約3m・約30°)

※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。



リモコンの収納

本体背面のリモコンホルダーにリモコンをしっかりと差し込んでください。



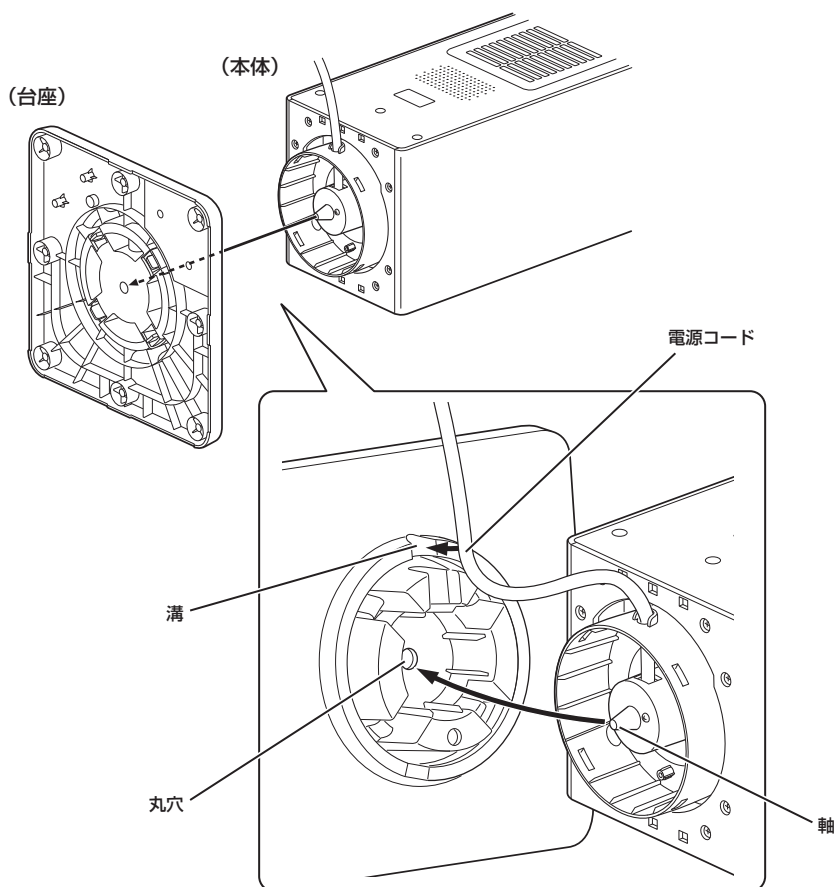
ご使用前の準備（台座を取り付ける）



- ・ 台座を取り付ける前に運転しない。
- ・ 台座は確実に取り付ける。
不安定なため本体が転倒し、火災・感電・けがの原因となります。

本体底面の軸を台座の丸穴に合わせ、電源コードを台座の溝に通してはめ込みます。

- ・ 「カチッ」と鳴るまでしっかりはめ込んでください。



ご注意

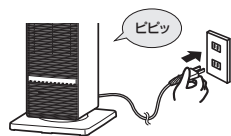
- 電源コードを台座と本体の間にはさまないようにご注意ください。

- ・ 台座を本体から取りはずす際は、底面からツメを押さえてはずしてください。（P. 20 参照）

正しい使いかた

運転前に 電源プラグをコンセントに差し込む。

・「ピーピー」と音が鳴ります。



温風運転する

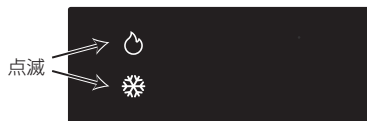
①電源ボタンを押す。

操作部 / リモコン



- ・ディスプレイが起き上がってライトが点灯し、スタンバイ状態になります。
- ※約30秒操作をしない場合は、電源が切れます。

ディスプレイ



※リモコン使用時は flame icon は点滅しません。

②温風 (W数切替) ボタンを押す。

操作部



リモコン

※リモコンで操作できません。

- ・ディスプレイが点灯し、強 [H2] で運転を開始します。

ディスプレイ



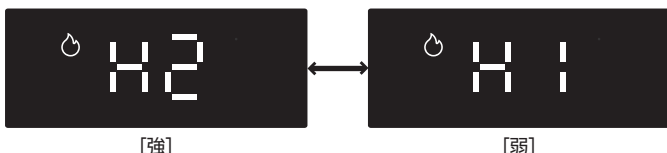
③温風 (W数切替) ボタンで ヒーターの強さを選ぶ。

操作部 / リモコン



- ・温風 (W数切替) ボタンを押すたびに、ヒーターの強さが切り替わります。
- ・ヒーターの強さは弱 [H1] または強 [H2] を選べます。

ディスプレイ



※弱 [H1] と強 [H2] で温風の風量は変わりません。

※運転開始時モーターが早く回りますが故障ではありません。

運転を停止するときは 電源ボタンを押す。

操作部 / リモコン



- ・「ビー」と音が鳴り、ヒーター保護のため送風運転を30秒間行います。

ディスプレイ

[30] からカウントダウン



- ・30秒後、ディスプレイが消灯して閉じます。

- ・ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

- 使用後しばらくは、吹出口など高温部に触れたり、吹出口のすき間に手や指を入れないでください。やけど・けがの原因となります。

送風運転する

①電源ボタンを押す。

操作部 / リモコン



点滅

- ・ ディスプレイが起き上がってライトが点灯し、スタンバイ状態になります。

ディスプレイ



②送風ボタンを押す。

操作部 / リモコン



点灯

- ・ ディスプレイが点灯し、強 [C3] で運転を開始します。

ディスプレイ



③送風ボタンで風量を選ぶ。

操作部 / リモコン



- ・ 送風ボタンを押すたびに、風量が切り替わります。
- ・ 風量は強 [C3] ・ 中 [C2] ・ 弱 [C1] の3段階から選べます。

ディスプレイ



運転を停止するときは 電源ボタンを押す。

操作部 / リモコン



- ・ 「ピー」と音が鳴り、ディスプレイが消灯して閉じます。
- ・ ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 温風運転から送風運転に切り替えてすぐに運転停止させたときは、ヒーター保護のため約30秒の送風運転を行った後、電源が切れます。

正しい使いかた

いろいろな機能の使いかた

首振り機能

●本体を左右に首振りする機能です。

運転中に 首振りボタンを押す。

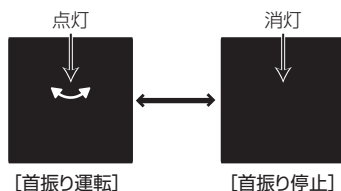
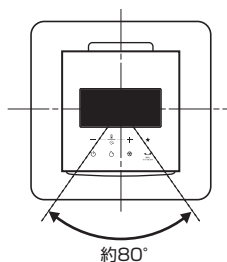
操作部 / リモコン



ディスプレイ

・ 首振りボタンを押すたびに、首振り運転と首振り停止が切り替わります。

■自動首振りの可動範囲

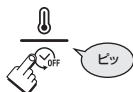


室温連動モード機能

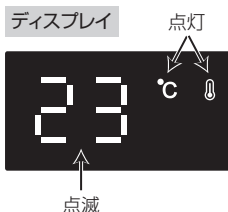
●自動的に運転をコントロールする機能です。

①運転中に 室温連動 / オフタイマーボタンを押す。

操作部 / リモコン



・ディスプレイの数字が点滅して [°C] と [⌚] が点灯します。



②ディスプレイの数字が点滅中に +ボタン・-ボタンでお好みの室温に合わせる。

操作部 / リモコン



・ +ボタン・-ボタンを押すたびに、設定温度が切り替わります。3秒以上長押しすると、温度を連続的に変更できます。
 ・ 温度は1℃単位で [18℃] ～ [28℃] に設定できます。
 ・ お好みの温度に合わせ、ディスプレイの数字が3回点滅して点灯になると、設定が確定されます。

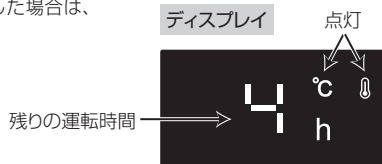
ディスプレイ ([24℃] に設定するとき)



・ 室温連動モード時もオフタイマー (P. 16 参照) を設定できます。

※室温連動モード時にオフタイマーを設定した場合は、残りの運転時間を表示します。

ディスプレイ

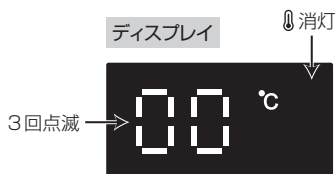


室温連動モードを解除するには

上記手順①②で [00℃] に合わせる。

・ 電源を切ることで解除できます。

ディスプレイ



正しい使いかた

いろいろな機能の使いかた

室温連動モード時の動作について

送風運転時 下表のように動作します。

設定温度と室温の差	動作
5℃以上高いとき	強 [C3] で設定温度まで運転
3℃～5℃高いとき	中 [C2] で設定温度まで運転
1℃～3℃高いとき	弱 [C1] で設定温度まで運転
設定温度になったとき	動作停止

温風運転時 下表のように動作します。
次の場合は、運転が停止して待機状態になります。(ヒーター保護のため約30秒間の送風運転が始まります)
・周囲の温度が設定温度以上になったとき
・室温連動モードを設定した時点で、周囲の温度が設定温度以上のとき

設定温度と室温の差	動作
4℃以上低いとき	強 [H2] で設定温度まで運転
2℃以上低いとき	弱 [H1] で運転
設定温度以上になったとき	動作停止

ご注意

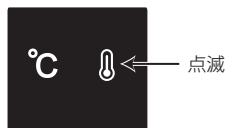
- 室温連動モードで運転中は、ヒーターの強さや送風の風量を変更できません。
- 室温連動モードで感知する室温は目安です。
同じ室内でも場所によって温度差があり、室温連動モードで感知する室温と、お部屋の温度計は異なることがあります。

※室温連動モードで動作を停止しているときは、ディスプレイの室温連動モードランプが点滅します。

ご注意

- 室温連動モードで動作を停止しても、電源は切れません。
使用しないときは、必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。

ディスプレイ

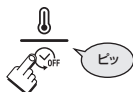


オフタイマー機能

●設定した時間経過後に、自動的に運転を停止する機能です。

①運転中に 室温運動 / オフタイマーボタンを2回押す。

操作部 / リモコン



ディスプレイ



点滅 点灯

・ディスプレイの数字が点滅して [h] が点灯します。

②ディスプレイの数字が点滅中に + ボタン・- ボタンで好みの時間に合わせる。

操作部 / リモコン



・ + ボタン・- ボタンを押すたびに、設定時間が切り替わります。3秒以上長押しすると、時間を連続的に変更できます。
 ・ 温風運転と送風運転で設定できる時間が異なります。
 温風運転時：1～4時間
 送風運転時：1～12時間
 それぞれ1時間刻みで設定できます。
 ・ お好みの時間に合わせ、ディスプレイの数字が3回点滅して点灯に変わると、設定が確定されます。

ディスプレイ ([4時間後] に設定するとき)



3回点滅後、点灯

・ オフタイマーを設定すると、ディスプレイに残りの運転時間*を表示します。
 * (例) オフタイマーを [4時間後] に設定してから1時間経過したときは、[3h] を表示します。
 ・ 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。
 ・ 設定時間経過前に運転を停止すると、オフタイマーは解除されます。

オフタイマーを解除するときは

上記手順①②で [0h] に合わせる。

・ 電源を切ることで解除できます。

ディスプレイ



3回点滅

正しい使いかた

いろいろな機能の使いかた

お気に入り機能

●お好みの運転状態を記憶させる機能です。

お好みの温風・送風・室温連動モード・首振りで運転中に
お気に入りボタンを3秒以上長押しする。

操作部 / リモコン

・ 温風・送風・室温連動モード・首振り・ライトの設定が記憶されます。



記憶させた設定を呼び出すときは

スタンバイ中・運転中に お気に入りボタンを短押しする。

操作部 / リモコン

温風運転を呼び出す際のご注意

送風運転中や待機状態中は、リモコンではお気に入り設定した温風運転に切り替えできません。

リモコンは本体の操作部で温風運転を開始した後ご使用ください。



※お気に入り設定はリセットできず、上書きのみ可能です。(電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いても、設定した温風・送風・室温連動モード・首振りの設定は記憶されています。)

※出荷時は、お気に入り設定は、「送風運転：中 [C2]・ライト：点灯」に設定されています。

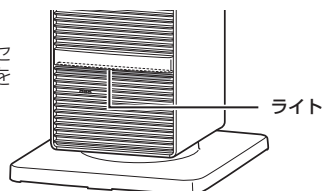
ライト機能

●本体のライトを点灯・消灯する機能です。

首振りボタンを3秒以上長押しする。

操作部 / リモコン

- ・ ライトが消灯します。
- ・ 運転停止中でも電源プラグをコンセントに差し込んでいれば、ライトを点灯できます。



ライトを点灯するときは

首振りボタンを3秒以上長押しする。

操作部 / リモコン



お手入れのしかた

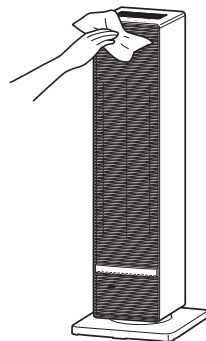
※お手入れは、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、必ず本体が冷めてから行ってください。

本体

外側は薄めた台所用洗剤（中性）にやわらかい布などを浸してしぼり、汚れを拭き取ります。その後、洗剤が残らないように、乾いた布でもう一度拭き取ってください。

で注意

- 操作部、本体内部の電気部品には絶対に水をかけないでください。
感電や故障の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。
本体を傷めます。また変色、変形の原因となります。



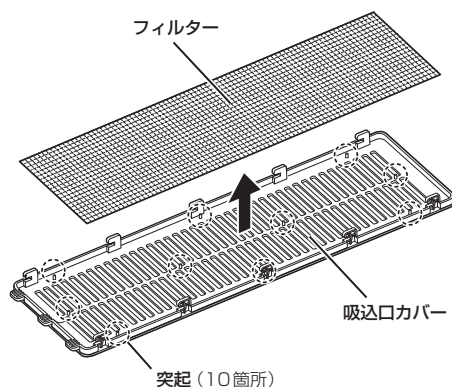
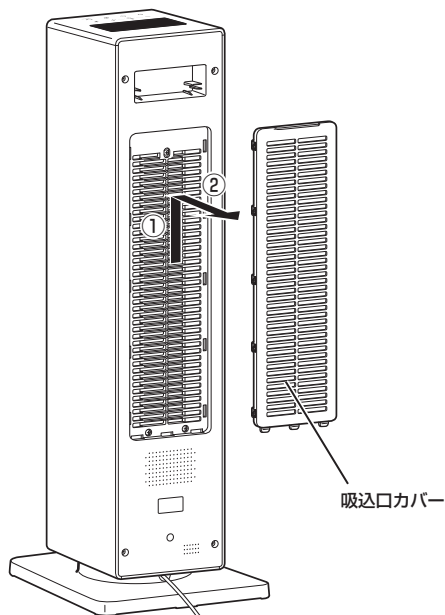
フィルター

週1回（目安）

・フィルターがごみやほこりなどで目詰まりすると、安全装置がはたらき、運転が停止することがありますので、定期的にお手入れしてください。

1 吸込口カバーを上にも止まるまでスライドして本体から取りはずします。

2 吸込口カバーからフィルターを取りはずします。

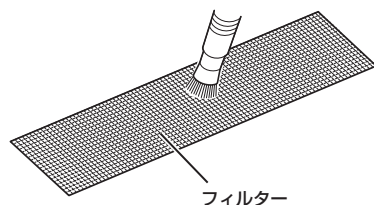


※フィルターの網目が吸込口カバー内側の突起にはめ込まれています。強く引っ張ってフィルターを破らないようご注意ください。

お手入れのしかた

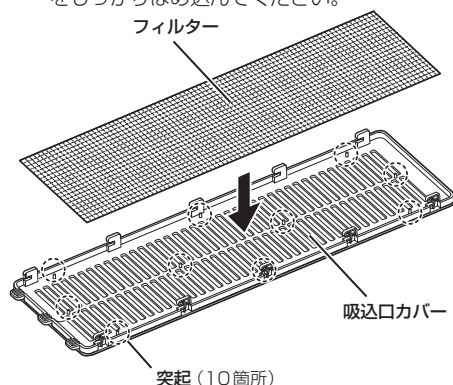
3 フィルターに付いたごみやほこりなどを掃除機で吸い取ります。

汚れがひどいときは、水洗いした後、陰干しして乾燥させてください。



4 フィルターを吸込口カバーに元通りにセットします。

※吸込口カバー内側の突起にフィルターの網目をしっかりとめ込んでください。

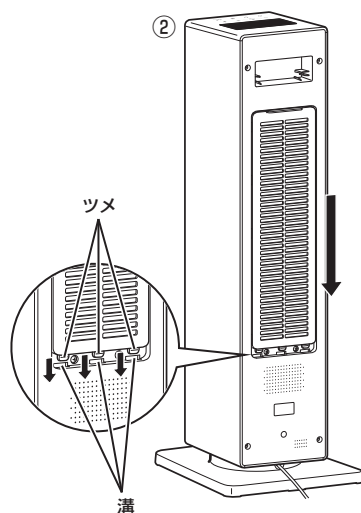
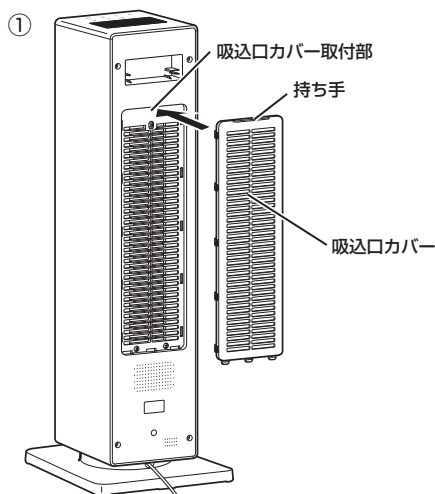


5 吸込口カバーを本体にはめます。

①吸込口カバーの持ち手を上にして吸込口カバー取付部の上端に合わせてはめます。

②吸込口カバー下部のツメ (3箇所) が吸込口カバー取付部の溝 (3箇所) にはまるように下にスライドします。

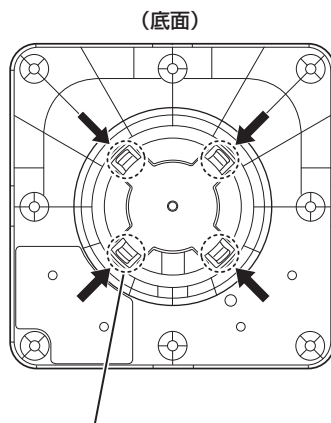
※取り付け後、吸込口カバーの各部に浮きが生じていないか確認してください。



・ フィルターや吸込口カバーを取りはずしたまま使用しない。
本体内部にごみやほこりなどを吸い込み、故障して発火・過熱する原因となります。

保管のしかた

- ・ お手入れした後、陰干して乾燥させてください。
- ・ 本体をポリ袋などで包んで元の梱包ケースなどに収納し、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。
- ・ 収納時、台座を取りはずすときは、底面からツメを押さえては
ずしてください。



ツメ (4箇所)

※ツメを外側から内側に押さえて
1箇所ずつはずしてください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。それでも異常のある場合は、商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

このようなとき	点 検	処置のしかた
運転しない 風がでない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●本体が傾いたり浮いたりしていませんか？	安定した場所に置きなおし、電源を切ってから再度電源を入れてください。
風の吹き出しが弱い	●フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？	フィルターのお手入れをしてください。(P. 18～P. 19参照)
	●吹出口の前に物を置いていませんか？	電源を切り、「設置について」(P. 5参照)をお守りいただき、正しく設置してください。
	●吸込口がふさがっていませんか？	
電源プラグが異常に熱くなる	●たこ足配線していませんか？	定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。延長コードを使用しないでください。
	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか？	コンセントをお調べください。
ヒーターの強さ・送風の風量を変更できない	●室温連動モードを設定していませんか？	室温連動モード時は、室温によって自動で運転をコントロールするため、ヒーターの強さや送風の風量を変更できません。
勝手に運転が止まる	●フィルターがごみやほこりなどで目詰まりしていませんか？	温度過昇防止装置がはたらいて停止することがあります。 電源を切り、フィルターのお手入れをしてください。(P. 18～P. 19参照) 約30分後、再度電源を入れてください。
	●吹出口の前に物を置いていませんか？	温度過昇防止装置がはたらいて停止することがあります。
	●吸込口がふさがっていませんか？	電源を切り、「設置について」(P. 5参照)をお守りいただき、正しく設置してください。
	●オフタイマーを設定しませんでしたか？	オフタイマーを設定すると、設定した時間経過後に自動的に運転を停止します。
	●室温連動モードを設定していませんか？	室温連動モード設定時は、自動的に運転をコントロールするため、室温により動作を停止することがあります。
	●ライトが点滅していませんか？	温風運転時、最後の操作から約5時間経過すると、ライトが点滅し、自動的に運転を停止します。 一度電源を切ってから運転を再開してください。(P. 6参照)
室温連動モードで部屋の温度計どおり運転しない	●同じ室内でも場所によって温度差があり、室温連動モードで感知する室温と、お部屋の温度計は異なることがあります。	
リモコンで操作できない	●リモコンの電池が古くなっていませんか？	新しい電池と交換してください。(P. 9参照)
	●リモコンの電池の入れかたを間違えていませんか？	リモコンの電池の＋－を確かめてください。(P. 9参照)

Q&A (よくあるご質問)

Q (質問)	A (回答)
6畳の部屋は暖まりますか？	発熱量は1200Wですので部屋全体の暖房能力はありません。 局部採暖器具として好適です。
電気代はどれくらいかかりますか？	1時間使用で約37.2円です。(1200Wで使用時)*
引っ越しして周波数の異なる地域でも使えますか？	50Hz、60Hz共用となっています。 どちらの地域でもそのままご使用できます。

※電気代は電力料金目安単価31円/kWh(税込)として計算しています。

ただし、電力会社およびご家庭の電気使用量や室温、器具の使用条件により多少異なります。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	
外 形 寸 法	約240(幅)×240(奥行)×700(高さ)mm	
質 量	約5.3kg	
電源コードの長さ	約1.6m	
運 転 モ ー ド	温風運転	送風運転
消費電力(50/60Hz)	1200W	28W
安 全 装 置	二重安全転倒スイッチ 温度ヒューズ(84℃) 電流ヒューズ(2A)	
付 属 品	リモコン、ボタン電池(CR2032)×1個	

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 送風機能付ファンヒーターの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の送風機能付ファンヒーターの点検を！	
	このような 症状は ありませんか		ご使用 中 止
		このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。	

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。
Effective only in Japan. We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

送風機能付ファンヒーター

保証書

持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型 番	KHF-12269		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理 保証期間	対 象 部 分	期 間（お買い上げ日より）	
	本 体	1 年	
お 客 様	お名前	様	
	ご住所 〒		
販売店	店 名 ・ 住 所 ・ 電 話		



★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6268) 1423

お客様相談窓口

製品のお問い合わせ、修理に関するご相談、部品の購入に関するご相談は

お客様サポート

<https://www.koizumiseiki.jp/support/>

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。



ナビダイヤル（全国共通番号） **0570 (07) 5555**

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合 **TEL. 03 (3570) 6730**

■受付時間：平日9：00～17：00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号

2026年7月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）